

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	栃木市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	歌麿を活かしたまちづくり事業	総事業費			3,050,520	4,111,802	3,746,449	10,908,771
		うち市町支出額			900,000	1,800,000	1,800,000	4,500,000
		うち県交付金			450,000	900,000	900,000	2,250,000
2	とちぎ秋まつり	総事業費			5,696,467	28,687,970	216,940	34,601,377
		うち市町支出額			2,000,000	17,000,000	0	19,000,000
		うち県交付金			1,000,000	2,000,000	0	3,000,000
3		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	0	0	8,746,987	32,799,772	3,963,389	45,510,148
		うち市町支出額	0	0	2,900,000	18,800,000	1,800,000	23,500,000
		うち県交付金	0	0	1,450,000	2,900,000	900,000	5,250,000

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査書)
【単独事業】

市 町	栃木市
事業名	歌麿を活かしたまちづくり事業
事業主体の名称	歌麿を活かしたまちづくり協議会
代表者の名称	会長 大木 洋
事業主体の所在	栃木県栃木市万町9番25号
事業主体の概要	・団体の目的:喜多川歌麿の業績をたたえとともに、栃木市の関わりを市内外に発信し、ゆかりの地として、歌麿の作品や足跡を活かしたまちづくりを行い、「まちなか」の賑わいを創出することを目的とする。 ・設立年月日:平成28年5月24日 ・構成員等:小江戸とちぎ会、栃木市商店会連合会、栃木の例幣使街道を考える会、
当該事業に係る地域の現状と課題	栃木市では、江戸時代の浮世絵師 喜多川歌麿の肉筆画3点(「女達磨図」「鍾馗図」「三福神の相撲図」)を所蔵している。平成23年にとちぎ蔵の街美術館で3点揃っての公開に合わせて、市民団体等が主体となり「歌麿まつり」を開催したことをきっかけとして、翌24年に「歌麿まつり実行委員会」を発足。毎年10月もしくは11月にまつりを開催するにあたり、実行委員会を組織し、会議を重ねながら企画内容を決定、開催してきた。 しかし、まつり期間だけの活動であるため、歌麿と栃木市の関わりを市内外に十分に周知すること、「まちなか」のにぎわいを創出し、まちづくりにつなげることが難しいことから、実行委員会の関係団体が、平成28年度「歌麿を活かしたまちづくり協議会」(以下、「歌麿まつり」)はまちなかのこ、まつり期間外にも歌麿に関する講演会の開催や、研修部会が企画する勉強会を行う等、年間を通じて活動することで、歌麿に関しての周知や学習の機会を増やしてきた。途中、令和元年度に台風19号による大雨被害、令和2年度から3年度に新型コロナウイルス感染症により活動中止を余儀なくされた時期があったが、令和4年度には、「歌麿道中」や歌麿に関する講演会を規模を縮小しながらではあるが開催することができた。 活動を通じての課題は、新型コロナウイルス感染症の影響により、「歌麿まつり」を含めた様々な事業が中止・規模を大幅に縮小しての開催となったことによる周知・学習機会の減少や、会員の高齢化が進み、今後の事業の継続が困難なことが予想されるため、イベント等を通じて歌麿に興味のある会員を確保することである。
事業目的	歌麿ゆかりの地として、歌麿の作品や足跡を活かしたイベントを開催し、「まちなか」のにぎわいを創出することにより歌麿と栃木市の関わりを市内外に発信するとともに観光客を呼び込めと共に、イベント等を通じて既存会員の知識を深めること、歌麿に興味のある会員を確保することで活動を継続し、まちづくりに繋げていくことを目的とする。
事業概要	【令和7年度】①～⑦ ①第14回歌麿まつり(「歌麿道中」や「歌麿夢芝居」、その他協議会構成団体による関連イベント)の開催 開催期間:令和7年10月11日(土)～19日(日)の9日間 開催場所:蔵の街とちぎ(蔵の街大通りを中心とした街中周辺) 内容:(1)とちぎ歌丸シェ 10月12日(日) ※歌麿カウヒイのお披露目、べらぼう関連自治体のPRブース設置 来場者数:延1,000人 (2)歌麿道中 10月19日(土) ※歌麿が描いた世界を再現 来場者数:延5,000人 (3)各種団体による歌麿関連イベント 参加団体:13団体 来場者数:延23,000人 ②歌麿ミュージカル「流転、深川の雪」 開催期間:令和7年11月29日(土)、30日(日) 開催場所:とちぎ岩下の新生姜ミュージアム(栃木文化会館)大ホール 来場者数:延2,000人 ③栃木市立美術館による高精細複製画ならびに肉筆画の展示、浮世絵展の開催 (1)高精細複製画の展示 「大仏重現」 展示期間:令和7年4月12日(土)～令和7年6月15日(日) 来場者数:8,139人 「浮世絵超入門+オドロキの超応用編」 展示期間:令和7年7月5日(土)～令和7年9月23日(火) 来場者数3,718人 「喜多川歌麿と栃木の狂歌」 展示期間:令和7年10月10日(金)～令和7年12月14日(日) 来場者数:10,579人 (2)肉筆画の展示 「喜多川歌麿と栃木の狂歌」 展示期間:令和7年10月10日(金)～令和7年12月14日(日) 来場者数:10,579人 ④市の歴史的風致形成建造物を「とちぎ歌麿交流館」として活用し、栃木と歌麿に関連した情報発信・研究・情報交換を行った。 来場者数:延6,800人 ⑤講演会:稀代の浮世絵師・歌麿の面画と栃木の雪月花 日時:9月23日(火・祝) 来場者数:109名 ⑥大河ドラマに関連する団体や登場人物ゆかりの地との相互連携 (1)江戸たいとう葛重まつりへのPRブース出展 日時:5月31日(土) 会場:東京都台東区 山谷堀広場・墨田公園 (2)歌麿と栃木のPR 日時:8月24日(日)、9月18日(木) 会場:べらぼう江戸たいとう大河ドラマ館 (3)歌麿まつりイベント(とちぎ歌丸シェ・歌麿道中)へのブース出展・出演 出演団体:東京都台東区、福島県白河市、静岡県牧之原市 (4)その他関連団体へのイベントへの出展 ⑦栃木商人の蔵めぐりの開催 ※まちなかの空き蔵等の内部の公開 日時:4月26日(土)、27日(日)、29日(火・祝)、5月3日(土) 【令和8年度以降】 ①歌麿まつり(「寛政三美人をイメージしたイベント」や「歌麿ミュージカル」、その他協議会構成団体による関連イベント)の開催 ②栃木市立美術館と連携し、高精細複製画ならびに肉筆画の展示 ③歴史的風致形成建造物を活用した歌麿と栃木の関連した情報発信・研究・情報交換 ④若年層の会員確保のためのコンテンツ制作・発信 ⑤歌麿と栃木PRキャラクターを活用したPR事業 ⑥大河ドラマゆかりの地との相互連携
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本方針】地域資源を活かした賑わいと活力のある栃木市 【基本施策】観光の振興 【KPI】年間観光客入込数:令和9年度に年間650万人(平成30年度現状値:年間600万人)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳					
事業内容	5年度	6年度	7年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
	①栃木県誕生150周年記念歌麿まつり(「歌麿道中」・「歌麿夢芝居」・協議会構成団体による関連イベント)の開催 ②制作オペア「歌麿の恋」 ③栃木市立美術館における高精細複製画ならびに肉筆画の展示 ④歴史的風致形成建造物を利用した栃木と歌麿の関連した情報発信・研究・情報交換 ⑤歌麿と栃木の関連を周知させるための講演会・勉強会 ⑥若年層の会員確保のためのコンテンツ制作・発信 ⑦大河ドラマに関連する団体や登場人物ゆかりの地との相互連携 ⑧その他、事業の拡大や新規事業の開拓	①歌麿まつり(「歌麿道中」・協議会構成団体による関連イベント)の開催 ②制作オペア「歌麿の恋」 ③栃木市立美術館における高精細複製画ならびに肉筆画の展示 ④歴史的風致形成建造物を利用した栃木と歌麿の関連した情報発信・研究・情報交換 ⑤歌麿と栃木の関連を周知させるための講演会・勉強会 ⑥若年層の会員確保のためのコンテンツ制作・発信 ⑦大河ドラマに関連する団体や登場人物ゆかりの地との相互連携 ⑧その他、事業の拡大や新規事業の開拓	①歌麿まつり(「歌麿道中」・協議会構成団体による関連イベント)の開催 ②制作ミュージカルの公演 ③栃木市立美術館における高精細複製画ならびに肉筆画の展示 ④歴史的風致維持形成建造物を利用した栃木と歌麿の関連した情報発信・研究・情報交換 ⑤歌麿と栃木の関連を周知させるための講演会・勉強会 ⑥若年層の会員確保のためのコンテンツ制作・発信 ⑦大河ドラマに関連する団体や登場人物ゆかりの地との相互連携 ⑧その他、事業の拡大や新規事業の開拓		①歌麿まつり(「とちぎ歌丸シェ」・「寛政三美人をイメージしたイベント」・協議会構成団体による関連イベント)の開催 ②栃木市立美術館における高精細複製画ならびに肉筆画の展示 ③歌麿と栃木の関連を周知させるための講演会・勉強会 ④歴史的風致形成建造物を利用した栃木と歌麿の関連した情報発信・研究・情報交換 ⑤その他、事業の拡大や新規事業の開拓 ⑥大河ドラマで使われた下絵、扇子等の展示
事業費	3,050,520	4,111,802	3,746,449	10,908,771	3,653,000
市町支出金(ソフト事業分)	900,000	1,800,000	1,800,000	4,500,000	900,000
うち県交付金	450,000	900,000	900,000	2,250,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	2,150,520	2,311,802	1,946,449	6,408,771	2,753,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	栃木市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	歌麿を活かしたまちづくり事業	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
栃木市補助金	1,800,000	栃木市
協賛金	2,080,000	企業・各種団体等からの協賛金 119件
繰越金	545,094	繰越金(協議会前年度残金)
会費	53,000	団体会費 3,000円×16団体 個人会費 1,000円×5人
雑入	1,193	利息(上半期548円、下半期645円)
計	4,479,287	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	471,000	471,000	235,500	0	歌麿道中協力者謝礼等
旅費	112,562			112,562	歌麿と栃木PR活動に係る交通費等
消耗品費	21,006			21,006	歌麿道中消耗品費等
食糧費	83,745			83,745	歌麿道中出演者弁当代等
印刷製本費	236,445			236,445	チラシ・ポスター・PRカード印刷代
修繕料	0			0	
通信運搬費	21,446			21,446	協賛金お礼状送付代
広告費	33,000			33,000	新聞広告料
手数料	65,930			65,930	振込手数料等
委託料	1,421,315	1,329,000	664,500	92,315	歌麿道中着付け委託料 ホームページ保守管理委託
使用料及び賃借料	0			0	
備品購入費	0			0	
負担金、補助及び交付金	1,280,000			1,280,000	歌麿ミュージカル負担金
計	3,746,449	1,800,000	900,000	1,946,449	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合